

3.2.4 植物、動物の状況

1) 植物

調査区域における現存植生は図 3.2.4.1 に、潜在自然植生は図 3.2.4.2 に、特別緑地保全地区は図 3.2.4.3 に示すとおりです。

現存植生図によると、調査区域は、大部分に「市街地」及び「緑の多い住宅地」があり、一部に「畑雑草群落」があります。対象事業実施区域は、大部分に「ゴルフ場・芝地」及び「畑雑草群落」があり、一部に「クヌギ・コナラ群集」があります。

潜在自然植生図によると、調査区域は、大部分に「シラカシ群集・典型亜群集」及び「シラカシ群集・ケヤキ亜群集」があります。対象事業実施区域は、大部分に「シラカシ群集・典型亜群集」があり、一部に「シラカシ群集・ケヤキ亜群集」及び「ハンノキ群落」が分布しています。

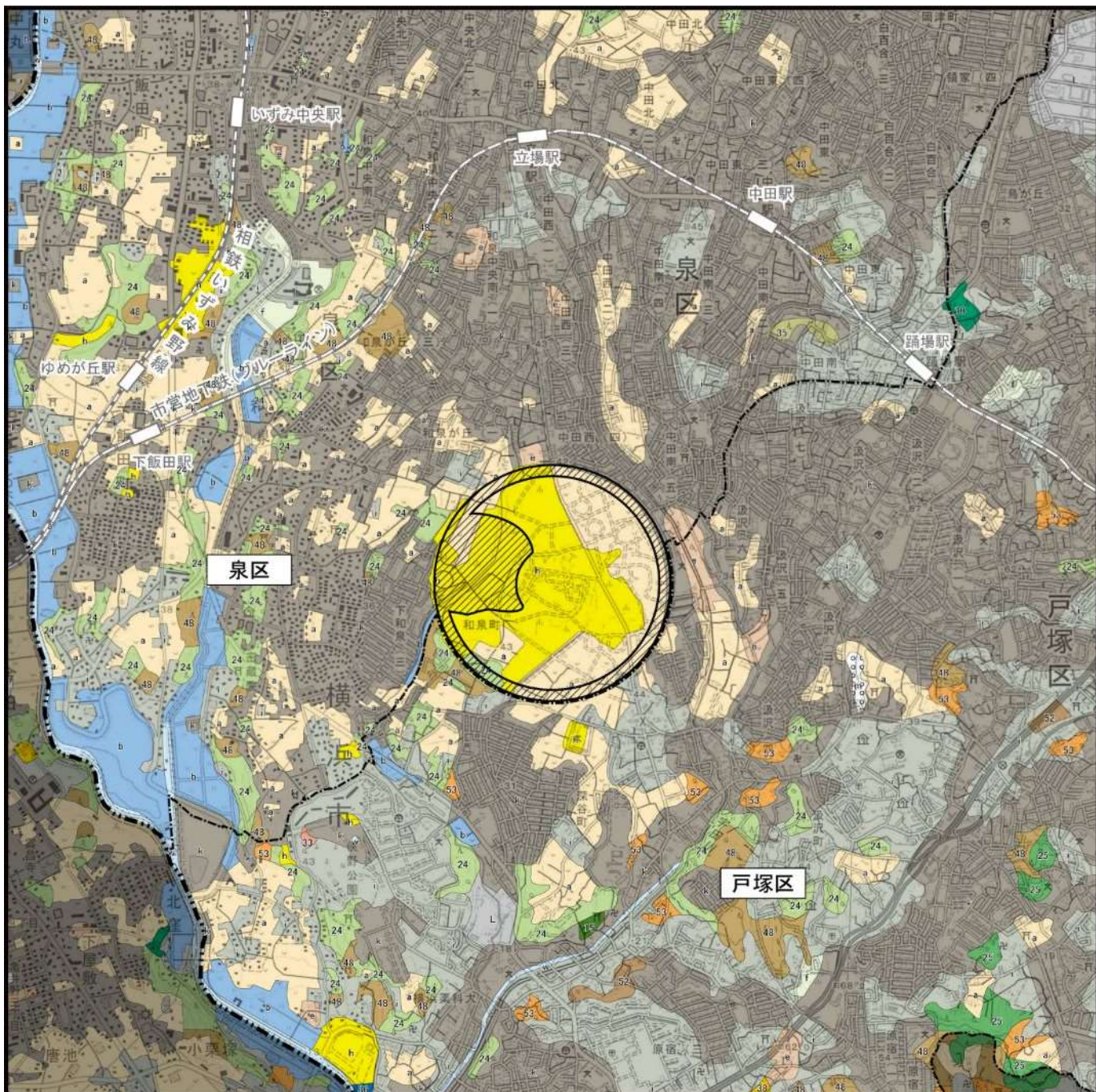
調査区域には、表 3.2.4.1 に示すとおり、特別緑地保全地区が指定されている区域がありますが、対象事業実施区域には存在しません。また、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月）に記載された神奈川県のレッドデータ植物群落（群落複合）や、「神奈川県レッドリスト〈植物編〉2020」（神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課、令和 2 年 10 月）に記載された植物群落、「自然環境保全基礎調査」（環境省）により選定された「特定植物群落」はありません。

一方、調査区域には、表 3.2.4.2 及び図 3.2.4.4 に示すとおり、本市の名木古木保存事業により指定された名木古木が 36 本ありますが、対象事業実施区域には存在しません。

表 3.2.4.1 特別緑地保全地区

行政区分	番号	名称	面積 (ha)	指定年月日
泉区	1	鯉ヶ久保特別緑地保全地区	1.7	平成 17 年 3 月 15 日
	2	古橋特別緑地保全地区	2.2	当初 平成 23 年 8 月 5 日 変更 平成 25 年 2 月 5 日
	3	鍋屋特別緑地保全地区	1.1	平成 25 年 2 月 5 日
	4	和泉町関島特別緑地保全地区	1.5	平成 28 年 7 月 5 日
	5	和泉町天王森特別緑地保全地区	0.6	平成 28 年 7 月 5 日
戸塚区	6	汲沢四丁目特別緑地保全地区	0.7	平成 26 年 2 月 5 日

資料：「特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区」（横浜市ホームページ、令和 3 年 4 月調べ）



凡例

: 対象事業実施区域

: 市境

: 区境

- | | | |
|-------------------------|----------------|-----------|
| : 10. シラカン群集 | : 52. その他植林 | : L. 工場地帯 |
| : 15. ヤブコウジースダシイ群集 | : 53. 竹林 | : m. 造成地 |
| : 24. クヌギ・コナラ群集 | : h. ゴルフ場・芝地 | : w. 開放水域 |
| : 25. オニシバリ・コナラ群集 | : f. 路傍・空地雑草群落 | |
| : 33. 伐採跡地群落 (V I I) | : e. 果樹園 | |
| : 35. アカメガシワーカラスザンショウ群落 | : a. 畑雑草群落 | |
| : 36. ミソソバ・ヨシ群落 | : b. 水田雑草群落 | |
| : 38. 低木群落 | : k. 市街地 | |
| : 48. スギ・ヒノキ・サワラ植林 | : i. 緑の多い住宅地 | |

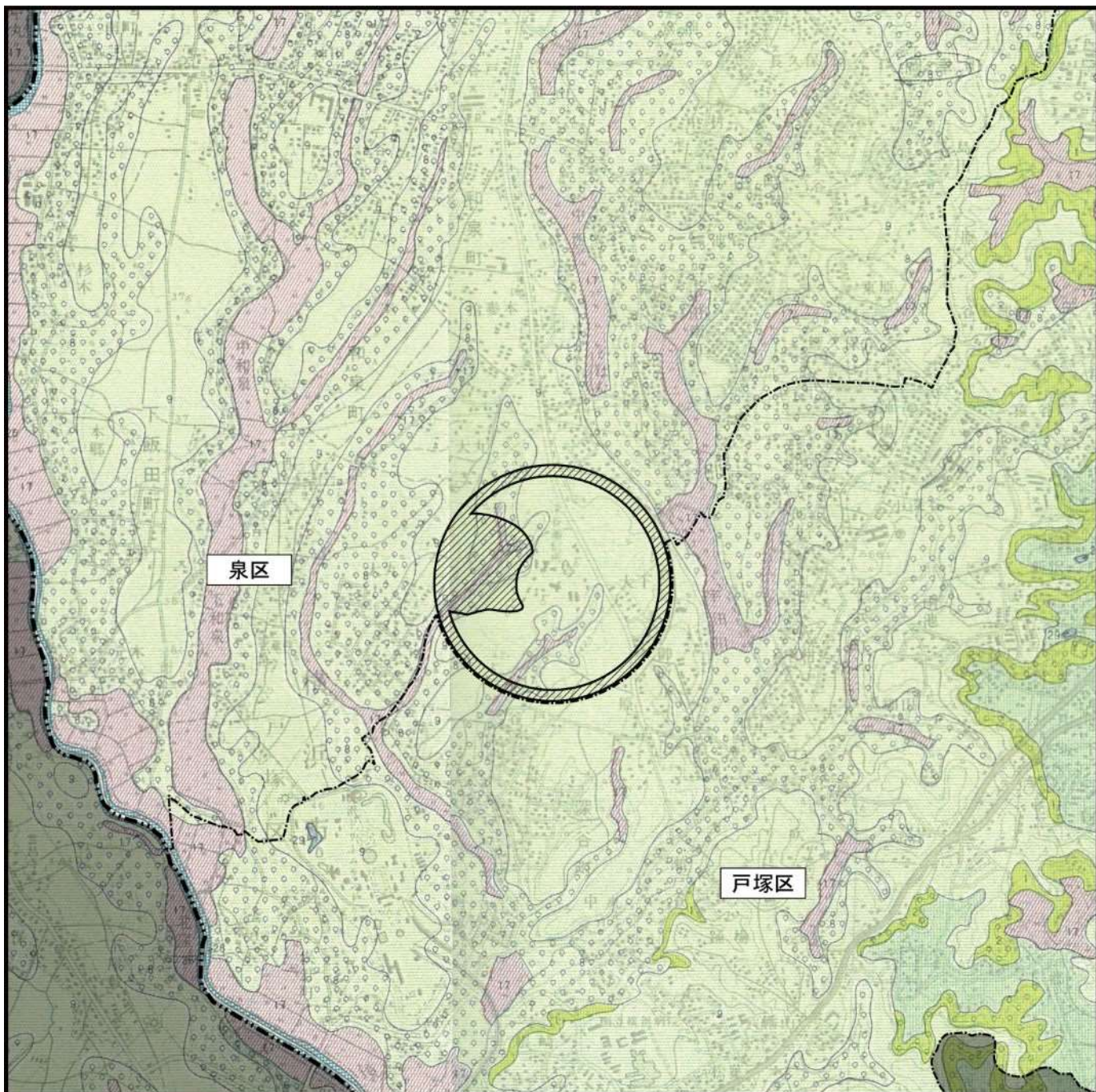


0 250 500 1,000 m

1:25,000

図 3.2.4.1 現存植生図

資料：「自然環境調査Web-GIS(第6-7回自然環境保全基礎調査植生調査)」
(環境省自然環境局生物多様性センター)



凡例

: 対象事業実施区域

: 市境

: 区境

資料A	資料B

- : ヤブコウジースダジイ群集・典型亜群集
- : ヤブコウジースダジイ群集・アカガシ亜群集
- : シラカシ群集・ケヤキ亜群集
- : シラカシ群集・典型亜群集
- : ハンノキ群落
- : セリークサヨシ群集・ツルヨシ群集 (河辺草本植物群落)
- : ウキクサクラス及びヒルムシロクラス (開放水域植物群落)

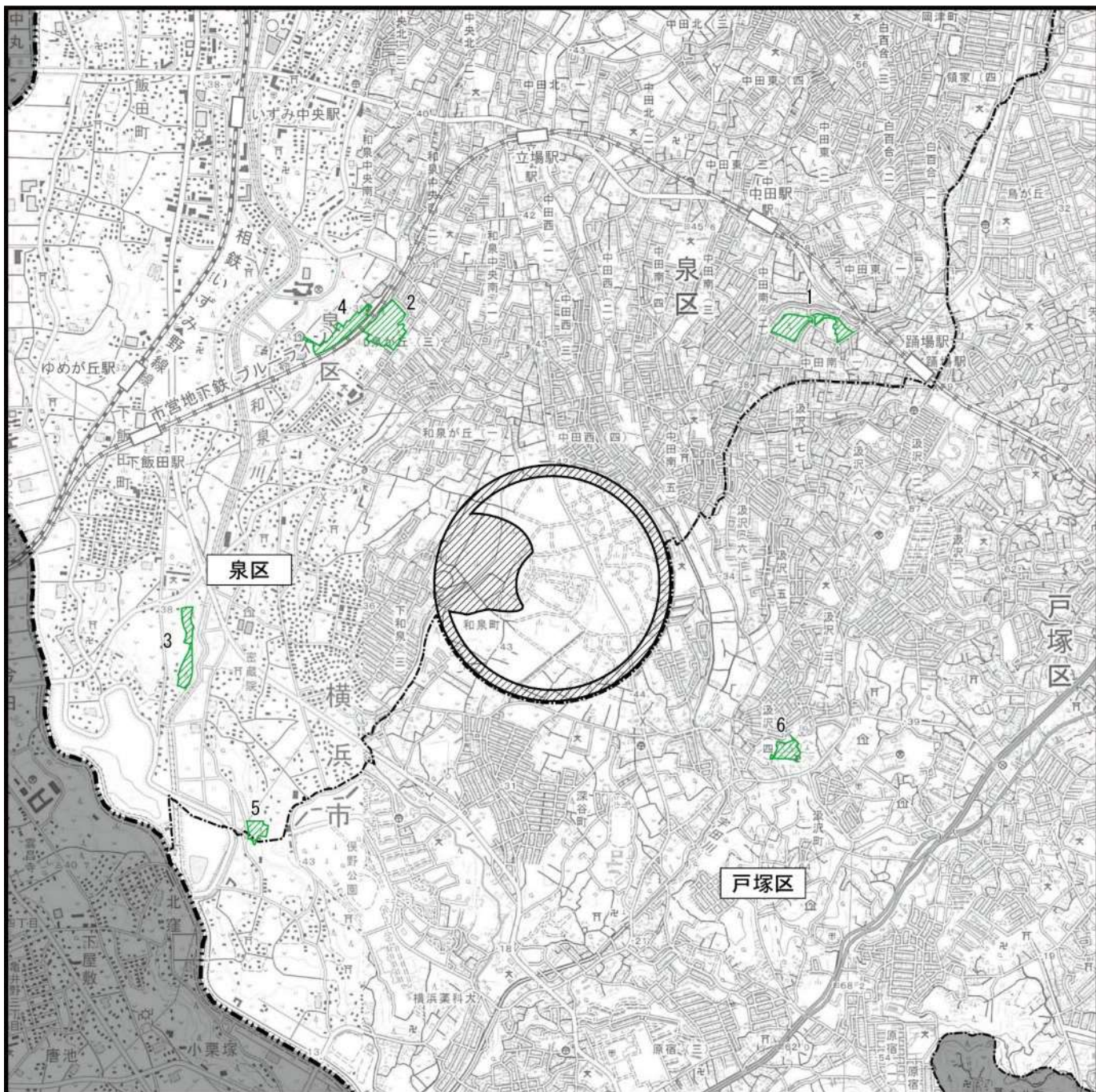


0 250 500 1,000 m


1:25,000

図 3.2.4.2 潜在自然植生図

資料A : 「神奈川県潜在自然植生図 (藤沢)」 (神奈川県教育委員会、昭和50年)
 資料B : 「神奈川県潜在自然植生図 (戸塚)」 (神奈川県教育委員会、昭和50年)



凡例

-  : 対象事業実施区域
-  : 市境
-  : 区境
-  : 特別緑地保全地区



0 250 500 1,000 m

1:25,000

図 3.2.4.3 特別緑地保全地区図

資料：「特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区」
(横浜市ホームページ、令和3年4月調べ)

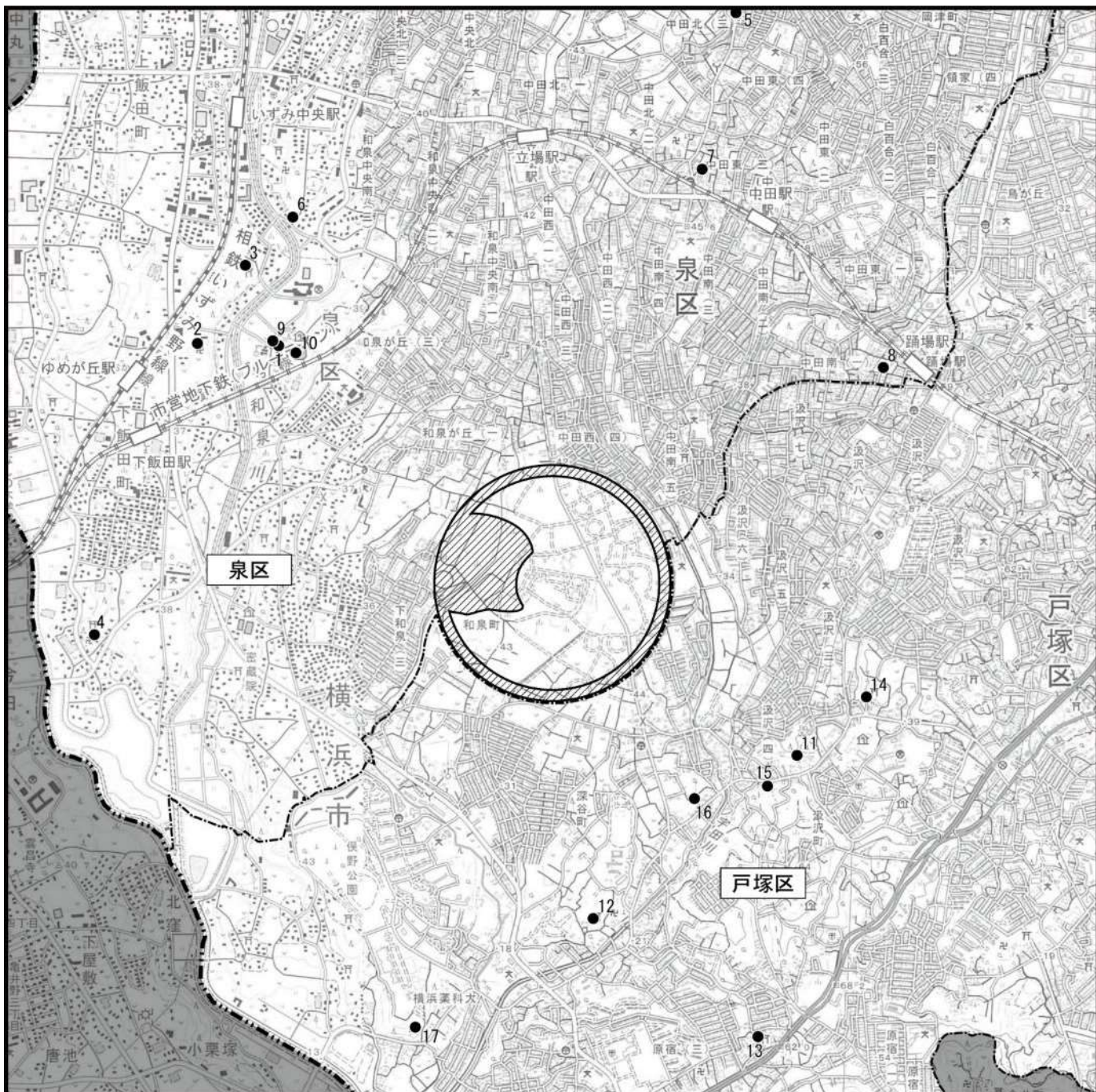
表 3.2.4.2 名木古木一覧表

行政区分	番号	所在地	樹種	樹齡 (年)	樹高 (m)	目通周 (m)
泉区	1	和泉町 2299-イ	スダジイ	750	12.3	5.8
	2	和泉町 3193	イチョウ	390	30.0	3.8
		和泉町 3193	イトヒバ	390	25.0	3.5
		和泉町 3193	イトヒバ	390	20.0	2.8
	3	和泉町 3253	シラカシ	350	27.0	1.8
	4	下飯田町 743	イチョウ	420	30.5	4.8
	5	中田町 3365	イチョウ	190	20.0	3.3
		中田町 3365	イチョウ	190	20.0	2.9
		中田町 3365	サカキ	220	10.0	0.8
	6	和泉町 3051	キンモクセイ	420	12.0	2.3
	7	中田東三丁目 22-21	サルスベリ	380	4.0	2.1
	8	中田南一丁目 1385-1	シラカシ	300	16.0	2.7
		中田南一丁目 1385-1	ケヤキ	300	14.0	2.1
	9	和泉町 2313 番	チャボヒバ	120	6.0	0.85
10	和泉町 2312 番 1	ケヤキ	150	22.0	2.1	
	和泉町 2312 番 1	ケヤキ	180	25.0	2.1	
戸塚区	11	汲沢四丁目 32-6	イチョウ	180	32.0	3.7
		汲沢四丁目 32-6	シダレザクラ	110	6.0	1.7
	12	深谷町 1026	モミ	160	25.0	2.5
		深谷町 1026	ヒノキ	140	22.0	2.6
		深谷町 1026	スダジイ	110	25.0	2.7
	13	原宿三丁目 17-8	スダジイ	240	10.0	3.5
		原宿三丁目 17-8	スダジイ	240	8.0	2.7
		原宿三丁目 17-8	スダジイ	240	10.0	3.1
		原宿三丁目 17-8	スダジイ	240	8.0	2.5
		原宿三丁目 17-8	スダジイ	240	10.0	2.2
		原宿三丁目 17-8	スダジイ	240	10.0	5.4
	14	汲沢町 1273	モミノキ	180	30.0	2.5
	15	汲沢町 251	ケンボナシ	130	12.0	1.1
		汲沢町 251	ケヤキ	380	18.0	4.5
	16	汲沢町 398-2	モチノキ	310	8.5	2.0
	17	俣野町 585-1	タイサンボク	120	16.0	2.0
		俣野町 585-1	サルスベリ	120	8.5	1.2
俣野町 585-1		シラカシ	200	7.5	2.3	
俣野町 585-1		モチノキ	200	7.5	1.5	
俣野町 585-1		イトヒバ	150	18.0	2.3	





※平成 31 年 3 月 13 日現在

資料：「名木古木に指定された樹木一覧」

(横浜市環境創造局みどりアップ推進部みどりアップ推進課、令和 3 年 4 月調べ)



凡例

-  : 対象事業実施区域
-  : 市境
-  : 区境
-  : 名木古木



0 250 500 1,000
m

1:25,000

図 3.2.4.4 名木古木位置図

資料：「名木古木に指定された樹木一覧」
(横浜市環境創造局みどりアップ推進部みどりアップ推進課、令和3年4月調べ)

2) 動物

現存植生図（図 3.2.4.1 P3-18 参照）によると、調査区域は、大部分が「市街地」及び「緑の多い住宅地」であり、一部に「畑雑草群落」があります。対象事業実施区域は、大部分に「ゴルフ場・芝地」及び「畑雑草群落」があり、一部に「クヌギーコナラ群集」があります。

調査区域には「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月）に記載された、神奈川県における絶滅のおそれのある地域個体群は存在しません。

なお、「神奈川県鳥獣生息分布調査報告書」（神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課、平成 4 年 3 月）及び「横浜の川と海の生物（第 14 報・河川編）」（平成 28 年 3 月）において報告されている調査区域周辺の主な動物相の確認状況は、表 3.2.4.3 に示すとおりです。哺乳類はノウサギ、タヌキ、イタチ、アナグマが、鳥類はヤマドリ、タカブシギ、オオヨシキリ、アオジ等が、魚類はコイ、アブラハヤ、ドジョウ等が、底生動物はマシジミ、ハグロトンボ等が確認されています。

表 3.2.4.3 調査区域周辺で確認されている主な動物相の一覧

調査項目	主な確認種	
	資料①	資料②
哺乳類	ノウサギ、タヌキ、イタチ、アナグマ	—
鳥類	コサギ、カルカモトビ、コジュケイ、ヤマドリ、キジ、コトドリ、タカブシギ、イソシギ、コアジサシ、キジハト、カラセミ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カラヒトリ、シメ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシホソガラ、ハシブトガラス	—
魚類	—	コイ、オイカワ、カワムツ、アブラハヤ、タモロコ、ドジョウ、ホウズナ、オオヨシキリ、トウヨシホリ類
底生動物	—	ナミウスミシ、アメリカツノウスミシ、ヒメタニシ、カワナ、ヒメノアライイ、サカマキガイ、タイワンシジミ、マシジミ、エラミズシ、ヌマヒル、シマイシビル、ミスミシ、フロリダマシヨコエビ、ヤマトヌマエビ、ミナミテナカエビ、ヒラテナカエビ、スシエビ、アメリカザリガニ、モクスガニ、フタホコカゲロウ、サホコカゲロウ、フタモンコカゲロウ、シロハラコカゲロウ、ウスイロフトビゲコカゲロウ、ウデマカリコカゲロウ、シロタニカワカゲロウ、エラブタマダラカゲロウ、アジイトトンボ、ハグロトンボ、ダビドサナエ、オナガサナエ、アメンボ、コガタシマトビケラ、ナミコガタシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ等

資料①：「神奈川県鳥獣生息分布調査報告書」（神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課、平成 4 年 3 月）

資料②：「横浜の川と海の生物（第 14 報・河川編）」（横浜市環境科学研究所、平成 28 年 3 月）

表 3.2.4.3 に示した動物相について、表 3.2.4.4 に示す資料より選定を行いました。選定基準との比較を行った結果、調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種は、表 3.2.4.5 に示すとおりです。イタチの哺乳類 1 種、ヤマドリ、タカブシギ等の鳥類 12 種、コイやアブラハヤ等の魚類 5 種、マシジミ、ハグロトンボの底生生物 2 種が確認されています。

表 3.2.4.4 注目すべき種の選定基準（動物）

	文献及び法律名	選定基準となる区分	記号
1	「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)	特別天然記念物 天然記念物	国特 天然
2	「神奈川県文化財保護条例」 (昭和 30 年、神奈川県条例第 13 号)	県指定天然記念物	県天
3	「横浜市文化財保護条例」 (昭和 62 年、横浜市条例第 53 号)	市指定天然記念物	市天
4	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号)	国際希少野生動植物種 国内希少野生動植物種 緊急指定種	国際 国内 緊急
5	「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(環境省、令和 2 年 3 月)	絶滅 野生絶滅 絶滅危惧 I 類 絶滅危惧 I A 類 絶滅危惧 I B 類 絶滅危惧 II 類 準絶滅危惧 情報不足	EX EW CR+EN CR EN VU NT DD
6	「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月)	絶滅 野生絶滅 絶滅危惧 I 類 絶滅危惧 I A 類 絶滅危惧 I B 類 絶滅危惧 II 類 準絶滅危惧 減少種 希少種 要注意種 注目種 情報不足 不明種	EX EW CR+EN CR EN VU NT 減少 希少 要注 注目 DD 不明

表 3.2.4.5 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種

項目	目名	科名	種名	選定基準及びランク※1					
				1	2	3	4	5	6※2
哺乳類	ネコ目	イタチ科	イタチ						NT
鳥類	キジ目	キジ科	ヤマドリ						VU ^{a, b}
		チドリ目	チドリ科	コチドリ					
	シギ科		タカブシギ					VU	NT ^b
	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ						減少 ^a
		ツバメ科	ツバメ						減少 ^a
		セキレイ科	キセキレイ						減少 ^a
			セグロセキレイ						減少 ^a
		モズ科	モズ						減少 ^a
		ウグイス科	オオヨシキリ						VU ^a
			セッカ						減少 ^{a, b}
ホオジロ科		アオジ						VU ^a	
アトリ科	カワラヒワ						減少 ^a		
魚類	コイ目	コイ科	コイ						DD
			アブラハヤ						NT
		ドジョウ科	ドジョウ					NT	
	スズキ目	ハゼ科	ボウズハゼ						NT
オオヨシノボリ								NT	
底生動物	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ					VU	
	トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ						要注

※1 「選定基準及びランク」1～6は、表 3.2.4.4 の文献を参照。

※2 「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月）において、鳥類は繁殖期または非繁殖期ごとにカテゴリーが設定されています。繁殖期及び非繁殖期の区分は以下のとおりです。

a：繁殖期、b：非繁殖期

1) 農地

調査対象地域における自然的土地利用面積は、表 3.2.4.6 に示すとおり、泉区では 447ha の農地があり、戸塚区では 290ha の農地があります。

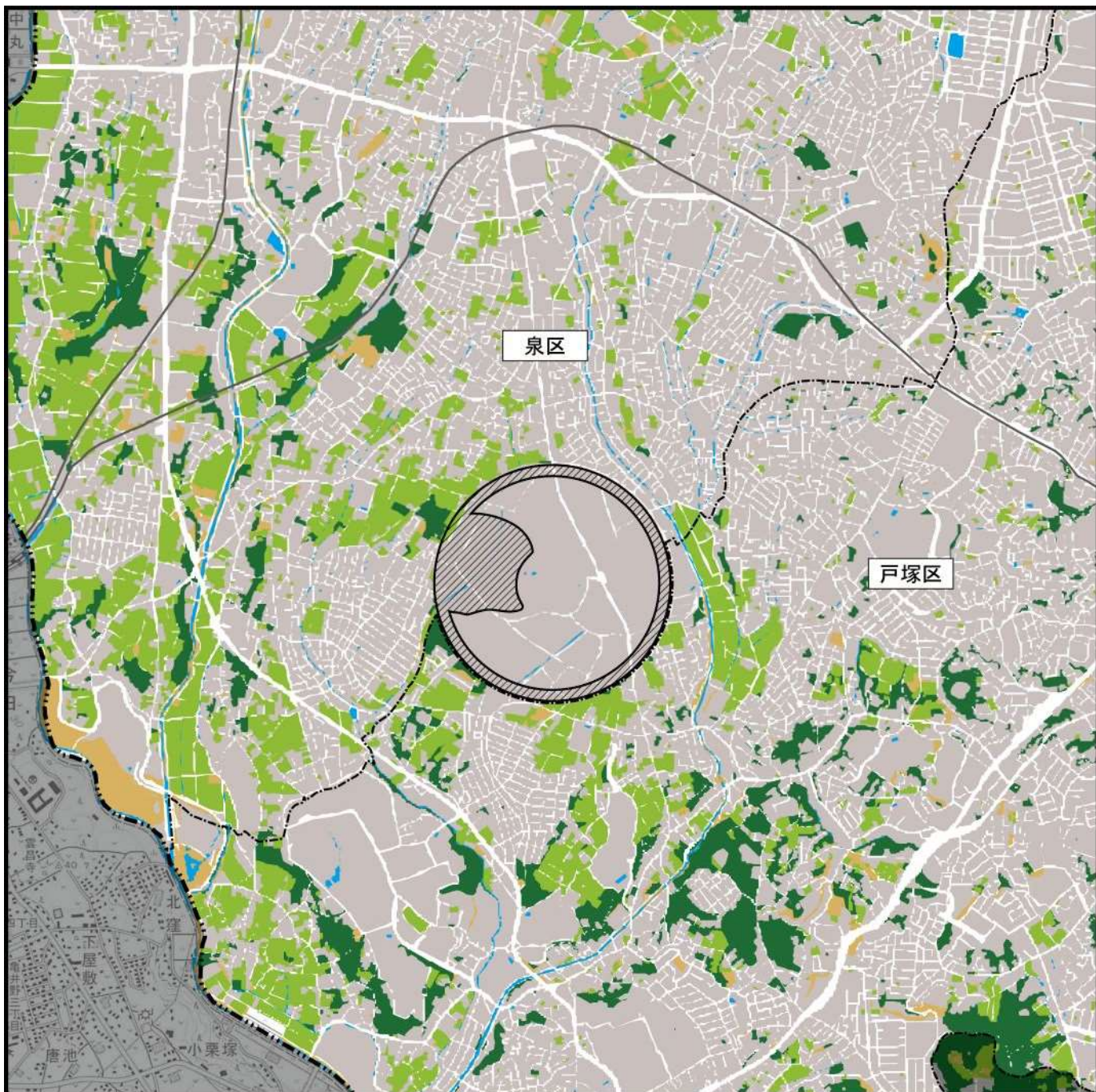
調査区域における農地の状況は、図 3.2.4.5 に示すとおりです。調査区域には多くの農地が分布しており、対象事業実施区域にも農地が一部分布しています。

ただし、対象事業実施区域には耕作している農地はありません。




表 3.2.4.6 農地の状況

項目	面積 (ha)	
	泉区	戸塚区
農地	447	290

資料：「横浜市 土地利用のあらまし 平成 26・27 年度」（横浜市建築局企画部都市計画課、平成 30 年 4 月）



凡 例

- | | |
|--|---|
|  : 対象事業実施区域 |  : 農 地 |
|  : 市 境 |  : 山 林 |
|  : 区 境 |  : 河川・水路・水面 |
|  : 鉄道路線 |  : 荒地・海浜・法面等 |
| |  : 道路用地 |
| |  : その他 |



0 250 500 1,000
m

1:25,000

図 3.2.4.5 農地の状況

資料：「横浜市土地利用のあらまし 平成 26・27 年度」
(横浜市建築局企画部都市計画課、平成 30 年 4 月)

2) 森林

調査区域における地域森林計画対象民有林及び保安林の分布状況は、図 3.2.4.6 に示すとおりです。調査区域には多くの地域森林計画対象民有林及び保安林が分布しており、対象事業実施区域にも地域森林計画対象民有林が一部分布しています。

ただし、対象事業実施区域には民間所有地はありません。



凡例

- : 対象事業実施区域
- : 地域森林計画対象民有林
- : 市境
- : 保安林
- : 区境
- : 鉄道路線



0 250 500 1,000
m

1:25,000

図 3.2.4.6 森林地域の状況

資料：「国土数値情報（森林地域データ）」（国土交通省、令和3年4月調べ）

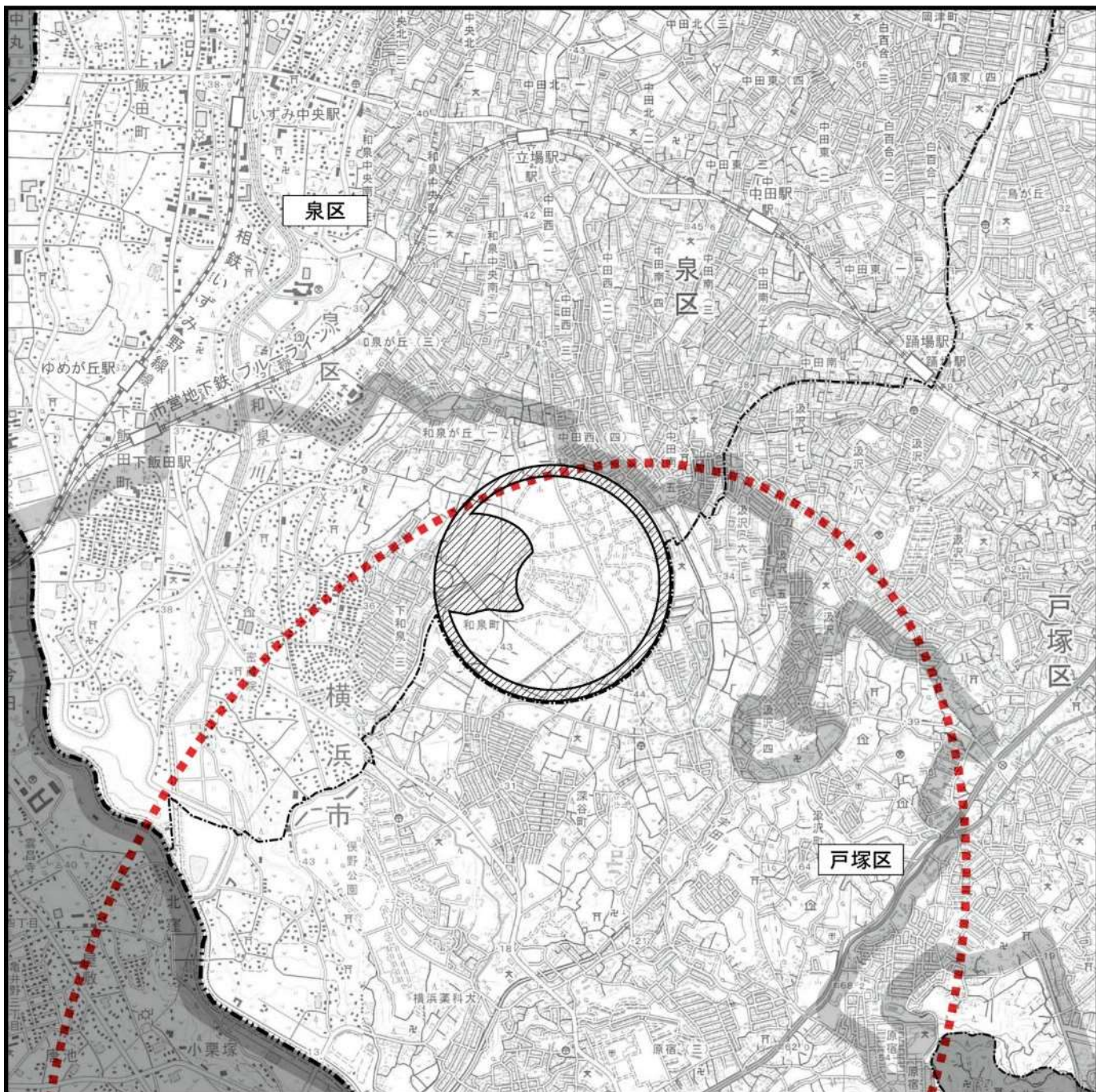
3) 生態系

調査区域には、表 3.2.4.7 及び図 3.2.4.7 に示すとおり、本市の「緑の 10 大拠点」に指定されている下和泉・東俣野・深谷周辺地区（横浜市水と緑の基本計画）や環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に指定されている下和泉・東俣野・深谷周辺（生物多様性保全上重要な里地里山）があります。対象事業実施区域は、2つの地区に含まれています。

表 3.2.4.7 生態系の状況

番号	名称	所在地	備考
1	下和泉・東俣野・深谷周辺地区 (横浜市水と緑の基本計画)	横浜市戸塚区・泉区	緑の 10 大拠点
2	下和泉・東俣野・深谷周辺 (生物多様性保全上重要な里地里山)	横浜市戸塚区・泉区	

資料：「横浜市水と緑の基本計画」（横浜市環境創造局政策調整部政策課、平成 28 年 6 月）
「生物多様性保全上重要な里地里山」（環境省ホームページ、令和 3 年 4 月調べ）



凡例

▨ : 対象事業実施区域

--- : 市境

..... : 区境

▬ : 下和泉・東俣野・深谷周辺地区（横浜市水と緑の基本計画）

⋯⋯ : 下和泉・東俣野・深谷周辺（生物多様性保全上重要な里地里山）



0 250 500 1,000
m

1:25,000

図 3.2.4.7 生態系の状況

資料：「横浜市水と緑の基本計画」（横浜市環境創造局政策調整部政策課、平成 28 年 6 月）
「生物多様性保全上重要な里地里山」（環境省ホームページ、令和 3 年 4 月調べ）